

東京都 2014 年度 秋季PL&BP報告

報告・写真提供： Team Ponze 代表 IPF 国際審判員

本年度の秋季 PL & BP 大会は、木々が色づき始めた 10 月 19 日小平市民総合体育館で開催された。都大会の会場としてこのところ頻りに使用させていただいていた駒沢屋内球技場及び国立競技場霞ヶ丘体育館の建直して、春秋の大会で使用できる会場の数が減少し、今春は関係各位のご厚意で、PL 大会を TXP で、BP 大会を国立第二小学校体育館での開催とさせていただいた。

今回の会場を管理しておられる小平市教育委員会の皆さんとは、昨年東京国体でご縁が出来、秋の大会の会場探しで難航していた今春にお声を掛けていただき、今回会場を使用させていただく運びとなった。本当に有難い、こういうご縁は今後も大切にしていきたい。

今大会エントリー数 PL71 名、BP56 名で計 127 名。BP の部に毎回多数エントリーして下さるチトフナ・パーククラブの皆さんが、マラソン大会とバッティングして僅かに 3 名のエントリーであったため、BP の部がやや数的に寂しかったが、運営側としては、PL エントリーの選手が多かったため、まずは手一杯の人数といったところであろう。

今回使用させていただいた同体育館の第 2 体育室は 580㎡の広さ、試合場設営前はやや手狭かなと思われたが、程よいスペースに 2 面の試合コート、2 階の倉庫から運び込んだ椅子の脚数がやや少なかった事が却って幸いし、ブルーシートの上に座り込んで試合観戦する観客の方々がリラックスして各選手の試技に対して贈る声援などにより、とても暖かい近年にない良い雰囲気の大大会となった。

PL の部

エントリーリストに福島友佳子選手の名前を見つけた時、ノーギアの友佳子さんの試技が見られるというワクワク感が湧いてきた。又、2011 年暮れ、神戸のアジア PL 大会で大怪我をした荒川大介選手がノーギアではあるが 3 年半ぶりに公式戦復帰、15 名の大量エントリーの TXP の選手の方たちがどこまで試合で練習の力が発揮できるのか、本当に楽しみが多い PL の部であったが、期待に違わぬ素晴らしい試合となった。

今回出場した女子選手の皆さん 10 名は、とても試技の安定度が高く、失敗試技が少なかった。その中で、もちろん福島友佳子さんの試技は、皆さん注目的であったが、もうお一方、一般 57kg 級 N に出場し



本年度の秋季大会は、小平市総合体育館で開催された。



都道府県ニュース

What's happening in your district

都道府県ニュース

What's happening in your district

た作山悠子選手 (Reabook Closs Fit Daikannyama) の強さが抜きん出ている。作山さんは、全種目東京新で SQ120 BP90 DL135 TL 345kg という結果であったが、各種目とも一階級下の女子クラシック PL 界の第一人者 52kg 級古屋典子さんに匹敵する記録であった。大会への意気込みの欄にも「Closs Fit の強さを証明します！」と力強くコメントしておられたが、本当に有言実行された力量は、驚嘆に価する。女子 PL 界にとっても楽しみなビッグタレントが参入してくださった事、大歓迎である。

一般 63kg に出場した野間口志保さんも 9 試技全部成功、SQ137.5 BP70 DL160 TL367.5kg はいずれも東京新であった。試合前「福島さんの試技が見られるのが本当に楽しみです！」と語っておられた。

10 名の出場選手のうち若手 3 名、SubJR43kg 級に藤野利選手、63kg 級に堀北夏未選手、JR57kg 級に藤浪瑠麗選手が出場、皆さん全種目及び TL の東京新を樹立された。

TXP からは 52kg 級 N に糸井千都香選手、84kg 級に曲澤彩香選手が出場、夫々 8 試技成功で、糸井さんは SQ と TL で東京新を更新、曲澤さんは、全種目東京新で TL を 272.5kg とした。お二人とも普段から武田コーチの優しく的確な指導を受けてとても真面目に PL に取り組んでおられる。その成果が出てお二人とも、試技の安定度が抜群であった。

52kg 級 F に出場した塚本美紀選手は初のフルギアでの試合であったようだが、パワーハウスの仲間の温かいサポートを受け、8 試技成功、TL を 245kg とした。

57kg 級の作山さんに次いで 2 位に入った前野由衣選手は得意の DL では、作山さんとほぼ互角のガチンコ対決で、意地を見せてくださった。

福島友佳子さんは、各種目とも一試技で終えられ(もちろんすべての試技及び TL が 47kg 級一般 & M1 の東京



団体出場目指して、初のノーギア大会参加、福島選手



記録であった)、試技の空き時間でパワーハウス同僚の塚本さんや藤浪さんに一生懸命声援を送っていた。日本女子 PL 界の第一人者の優しさ・誠実さが垣間見えていた。当然のことながら、友佳子さんは女子 PL の部のベストリフターに輝いた。

一般男子 83kg 級は 14 名が出場、本日の PL の部で最高の盛り上がりを見せたセッションとなった。打倒荒川大介を目指し、気合が入っていたのが 2013 年度ジャパンクラシック PL 大会 83kg 級チャンプの横田正敏選手で、SQ235(東京新)、BP150 でサブ TL385kg としてトップに立

男子83kg級を制した横田選手

つ。BP 得意の信田泰宏選手は、SQ 第三試技で軽く立った 200kg をラックの合図前に戻しもつたいない失敗、BP でも 175 の東京新に成功後 182.5kg の東京記録に第二第三試技で挑むも押切れず、波に乗れないようであったが、それでもサブ TL365 で 2 位につける。

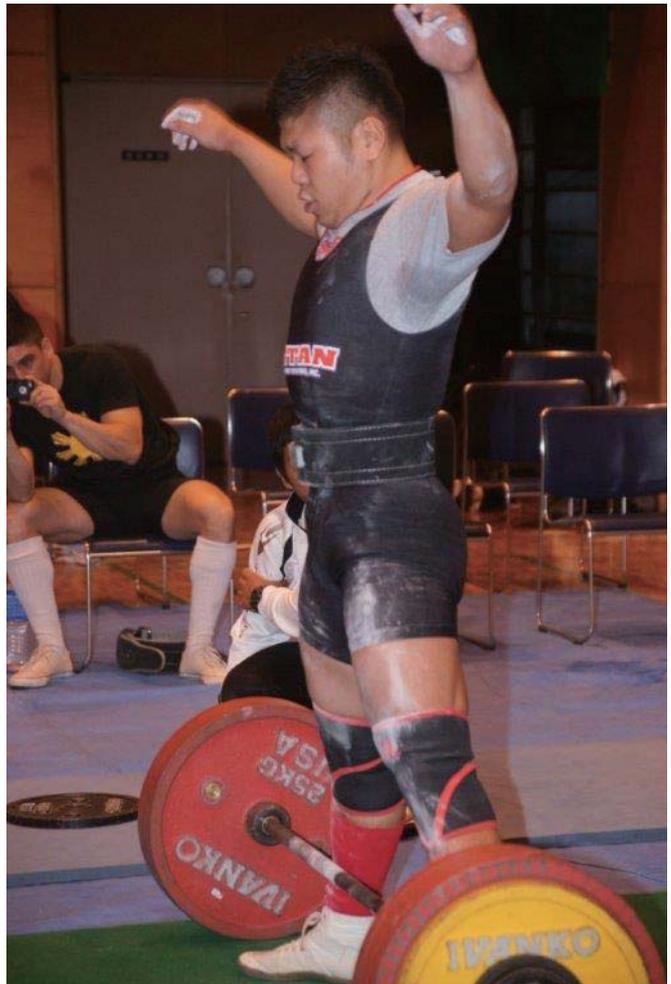
荒川さんは、3 年以上のブランクで試合感が戻っていない様であったが、SQ210 BP147.5 でサブ TL357.5 とする。横田さんとの差は 27.5kg である。過去の全日本 PL 大会で何度も 300kg 以上の DL を披露している荒川さんにとって、この差がどうであるのか、進行席で Good lift を操作していた私であるが、DL がどう展開するのかとても楽しみになった。

DL1 本目信田さん 210 荒川さん 220 に成功、横田さんは 245 を余裕で成功。荒川さんが 2 位に上がったが、横田さんとの差は 52.5 まで広がった。DL 第二試技信田さん 220 に成功、荒川さんは TL600 に載せるためか 22.5UP の 242.5 を申請、大怪我前の荒川さんなら UP の重量であったであろうが、この重量を引ききれず、横田さんは 255 を引き切り、ほぼ安全圏。第三試技信田さんは TL600 を狙い、235 に挑むも引ききれず 585kg で終了、暫定二位とした。荒川さんは、242.5 に再度挑むが引ききれず

TL577.5kg で終了、ここで TL572.5 で 4 位につけていた長尾潤選手が、体重差逆転を狙い 247.5 に挑み成功、荒川さんをおかし暫定 3 位に躍り出た。このクラスの東京記録 270 保持者の宮島哲夫選手は、今回故障上がりということで、やや精細を欠いたが最後は 260 に挑み、見せ場を作ってくれた。最終試技者の横田さんは 262.5 が途中で止まり T L 640kg で終了、勿論東京新記録である。セコンドについた増田博之さんが「エントリー表に荒川大介さんの名前を見たとき、絶対に負けないように T L 650 を目指そう」と横田さんに気合を入れたと語っておられた。

この他で目についた選手としては、SubJR74kg 級 N に出場した坂本寛明選手 (TXP) は、若干 18 歳で SQ185 BP115 DL200 とバランスが取れており TL も 500kg の大台に載せた。武田コーチの丁寧な指導を受け、今後もどんどん力を伸ばして行っていただきたい。

一般 59kg 級 N に出場した古賀翔太選手は、SQ で 191 の東京新記録を樹立、BP110 DL175 にまとめ、TL でも 476kg の東京記録を樹立した。同級 BP で BP スペシャリスト・井上卓選手 (TXP) が、150kg の未公認日本記録 (当然東京新) に成功。同 66kg 級 N では、春季大会の覇者・木村琢磨選手が SQ180.5 DL215 の東京新を樹立、得意の BP は 135 と振るわなかったが、TL で 530.5kg の東京新を達成した。



都道府県ニュース

What's happening in your district

2011 年アジア大会のケガからの復帰戦、荒川選手

都道府県ニュース

What's happening in your district

又、同級2位には武田アユム選手(TXP)が9試技全部成功しTLを500kgに載せた。TXPの選手は、試技の成功率が高く、特にDLでダウンの声がかかった際に、極力床に音を立てずにバーベルを置こうとする姿がとても好印象であった。PLのA面で進行に入って下さった山口

真人世界マスターPL大会チャンプも、アナウンスでその点を評価していた。

一般105kg級Fでは、手崎勝夫選手(ノーリミッツ)がSQ285 BP195 DL275 TL755kgの記録で男子の部PLベストリフターを獲得。最重量級の+120級Nでは、大活躍のTXPを代表する形で大坊健選手がSQ230 DL240の東京新に成功、BPは152.5にまとめ、TL622.5kgの東京新で優勝した。2位も僅差でTXPの同僚の海老田選手で、SQ210 BP170 DL230 TL610kgという結果であった。

この結果、各階級の絶対重量1位の女子5名、男子8名が国体の一次予選通過者となった。

BPの部

エントリー数が56名と、TPAのBP大会にしては少なかったが、PLエントリーが70名を超えていたことから、主催者側から見ると終了時間がさほど遅くならない事から歓迎すべき傾向であった。

今回女子選手はNとFに各々2名の参加で、計4名と数的には寂しかったが、皆さん精一杯の試技を披露してくださった。

47kg級M2Nに出場の渡辺あき子選手は50kgに成功。52kg級M2Fに出場の浅川圭子選手は3試技とも成功で、67.5kgで女子BPの部ベストリフターを獲得。57kg級M2FにはTXPで武田コーチのパーソナル指導をうけている木島洋子選手が57.5kgに成功、木島さんは世界マスターBP大会を目指しておられるとの事、是非とも頑張っていたきたい。72kg級M2Nには、久しぶりの大会出場、森田洋子選手(個人)が、65kgに成功。体調を崩し入院しておられたとの事であるが、元気に試合復帰してくださった。

高校66kg級Nでは鈴木輝多選手が92.5kgの高校新を樹立。同級一般Fでは、常連の石川拓也選手(パワーハウス)が、182.5kgを押切り、男子BPの部ベストリフターを獲得した。

105kg級M3Nでは、池尾治郎選手が、久しぶりに大会出場との事であったが、130kgの東京新を樹立した。

団体戦は： 女子の部 優勝 パワーハウス 2位 TXP
男子の部 優勝 TXP 2位 パワーハウス 3位 ノーリミッツ 4位 スパインハウス
5位 立川TC 6位 チトフナ. パワークラブ という結果であった。

最初にも書かせていただいたが、今回の会場・小平市民総合体育館は、駐車場も無料で広く、西武線鷹の台の駅隣接ということで、西東京地区の方々には、本当にアクセスも良く、今後都大会の開催会場として、どんどん使用させていただきたいという感想を持った。



東京都男子ナンバーワンは、TXP、コーチの武田選手が表彰を受ける

選手及び応援に来られたそのご家族の皆さん、毎回補助に入って下さる関東学生PL連盟各位、TPA所属審判員各位、TPA理事各位のご協力のお陰で、秋季東京都PL&BP大会を成功裏に終了する事が出来たことを感謝致します。

皆さん本当にありがとうございました！！

■ 北信越ベンチプレス選手権大会報告

報告・写真提供： 新潟県協会



西野 朋子

10月19日(日)第14回北信越ベンチプレス選手権大会が新潟県五泉市勤労青少年ホーム体育館で開催されました。下は15歳から上は78歳まで幅広い選手が参加されました。エントリーは33名で参加選手は30名でした。

今回初めてノーギア、フルギアの部で全カテゴリーを実施しました。一般カテゴリーだけだとマスターズ選手の日本記録挑戦が2.5kg単位になってしまいます。技術委員会の通達でブロック大会は、できるだけ全カテゴリーやるよう努めるよう要請もあり全カテゴリー実施しました。

ノーギア女子の部

MⅡ 47kg級岩城選手、記録は70kgで1位。今回ひとりで高重量を練習中にちょっとしたミスがあり、参加微妙でしたが事なきを得ました。数年前には世界ベンチにも出場した逸材です。女子最優秀選手賞を獲得しました。

MⅢ 52kg級渡辺選手、第3試技で日本記録の60.5kgに挑戦するも失敗で記録は、57.5kgで1位。女子優秀選手賞を獲得しました。

MⅢ 57kg級星田選手、第3試技で日本記録の65.5kgに挑戦するも失敗で記録は、62.5kgで1位。お二人は全日本実業団ベンチでも活躍され星田選手は12月のアジアオセアニアノーギアパワーリフティング大会に参加します。

サブ jr 84kg級佐藤選手は今大会いちばん若く記録は42.5kgで1位。去年の北信越ベンチにも出場しました。今後が期待される選手です。

フルギア女子の部

52kg級萩原選手、記録は60kgで1位。パワー、ベンチともやり全日本でも活躍されパワー界のアイドル的な感じます。

63kg級西野選手、記録は75kgで1位。新潟県パワーリフティング協会を支えるお方で徐々に選手復活され去年の北信越ベンチにも出場しました。女子優秀選手賞を獲得しました。

ノーギア男子の部

74kg級鈴木選手、階級を上げての参加。66kg級の日本記録保持者です。

10月12日に近畿ベンチで児玉選手が203kg挙げて日本記録を更新。この記録超え狙いで第3試技203.5kgに挑戦するも失敗。記録は190kgで1位。男子最優秀選手賞を獲得しました。

MⅢ 74kg級渡辺選手、第2試技で日本記録の146kgに挑戦し成功。第3試技は記録更新で148kgに挑戦するも失敗。記録は146kgでMⅢ 74kg級1位。

全日本実業団ベンチでも活躍され地元五泉フィットネスクラブ代表で新潟県パワー界の大御所です。男子優秀選手賞を獲得しました。

都道府県ニュース

What's happening in your district

都道府県ニュース

What's happening in your district

フルギア男子の部

74kg級橋爪選手、記録 180kgで 1 位。標準記録あるのに全日本ベンチには何故かエントリーしません。

新潟で全日本やる時にはぜひ出場して欲しいです。男子優秀選手賞を獲得しました。

MIV 66kg級皆川選手、記録は 110kgで 1 位。

御年 76 歳ノーギア、フルギア問わずパワー、ベンチともやり全日本実業団ベンチ、ジャパンクラシックパワー等でも活躍され新潟県の若い選手の見本となる人です。

MIV 74kg級熊倉選手はさいたまからのオープン参加で今大会参加最高年齢、御年 78 歳。記録は 105kg。年配の方が頑張っていると自分らもまだまだ頑張らないといけないと思いました。

今大会、反省点あるもののけが人もいなく日本記録も出て充実した大会でした。

ご協力いただいた北信越ブロックの方々には感謝いたします。

北信越大会、役員・選手大集合



写真上；児玉選手の日本記録を破るべく果敢に挑んだ鈴木選手

写真下；新潟パワー界の大御所渡辺選手



投稿、熊倉英夫

——なぜ喜寿になっても続けるのか？改めて応えます——

(10月19日の北信越大会に出場した熊倉氏より投稿をいただきました。)



1□ これしか生きがいがない

老化のスピードを心身共に少しでも遅らせることが、生きる証となる。

2□ 青春時代の唯一のトラウマを、なんとか克服したい。

立教大学レスリング部の次期キャプテンに、自他共に認めていたが、己に敗けて退部してしまった。たまたま1部から2部へ降格した原因は、私自身にあると云う罪悪感と後悔の念に苛まれていたが、20年前から始めたパワートレーニング→ベンチプレスの世界に没頭することにより、今度こそ途中で挫折せずに、完遂することが最良の道、支えである。

3□ 後輩を少しでも勇気づければ幸甚である。

青春は心の様相を云う、だからその姿勢を垣間見て貰い、「あんな老人でもやっている！」と奮起する一助となれば幸いである。尚スポーツの極地は、心技体が三位一体となって大成するもの、最近になって特に実感する。

(私の生きざま)

私は、何の目的もなくボヤーとしていたら生きる意味を失い、自分がダメになってしまうと思い今でも体力造りに励んでいます。云うならば老化を少し遅らせる戦いと、精神修養をやっているつもりです。

人の命は、生きたくとも死ぬときは死ぬし、生きたくなくとも天命があれば生き続けます。

いつ天命が下っても良い様に、明るく、楽しく、且つ真剣に生きようと心掛けております。



心技体三位一体となってベンチに挑む熊倉選手

都道府県ニュース

What's happening in your district

韓日ふれあい広場

写真提供：東京都

技術委員会委員長

物江 毅

11月8日、韓日ふれあい広場が大田区の体育館で開催された。東京都協会の会長で、日韓友好交流にご尽力されている保坂三蔵氏のお誘いで、東京都パワーリフティング協会では、この広場にパワーリフティング普及の目的で、ベンチプレス台を持ち込み、100名を超える方々にベンチプレスの手ほどきをした。

大いなる、パワーリフティングの普及行事となった。



写真上；韓日ふれあい広場が大田区体育館で盛大に開催された。

写真中；スタッフの東京都協会役員

写真下；100名を超える選手にベンチプレスの手ほどきをした

